

江澤梅逸

（註）

俳人。

慶應二年十一月江戸生れ、

明治二十九年十一月

月二十九日歿（二七七一六）。

本名松五郎。

別號小心庵、六々亭、

萬舍（註）

余齋等。

神田神保町の青物問屋。

俳詩は八世其角堂田邊棧一門下、尙

青（余齋）といふ節事（こゝろ）雜俳戯文を能くした。

花道・茶道に於て通じ、能社

言「中筋（こゝろ）達し、

好劇家といふことを知られた、

二分連（註）の幹事。津藤

（）湘木香以（

）以來の道客と稱はれた。その句へ花（こゝろ）なる中の一樹（こゝろ）

初

ち。